

イコール・ペイ・デイ（2019年5月13日） キャンペーン活動及び全国会議報告



女性が1年を超えて働いて、男性1年分の賃金と同額を手にする日、それを「イコール・ペイ・デイ(EPD)＝同じ賃金を手にする日」という。
賃上げ闘争ではありません。男女間の賃金格差を「見える化」して、社会の理解を広げようと世界各国のBPWが取り組んでいる運動です。

第6回 Equal Pay Day 全国会議 男女の賃金格差解消を目指して イコール・ペイ・デイ運動を広げよう！！

開催日：4月20日(土)13:30～16:30
会場：婦選会館ホール参加者26名(一般9名)
後援：厚生労働省・内閣府男女共同参画局
政策説明「女性活躍をめぐる最近の動きなど」
厚生労働省雇用環境・均等局 総務課長

堀井奈津子氏

第1部：講演

「男女賃金格差解消への道のり」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
共生社会室 室長、女性活躍推進・ダイバーシテイ
イマネジメント戦略室 矢島洋子氏

第2部：今後のEPD運動について意見交換と アピール採択

〈概要〉

初めに、堀井奈津子氏が、内閣府の資料に基づき政策面を説明。

「均等5法」の改訂状況について。「女性活躍推進法」では、女性活躍に関する企業の情報公開が大変重要であり、公表項目の見直しと、対象企業の拡大、勧告違反の企業名の公表制度の創設等予定。ハラスメントに関しては有効な法律が未整備であったが「労働政策審議会」でハラスメント防止対策として、具体的取組みへの建議がなされ、各法律による改訂方向が出た。

女性の健康の取り組みでは、女性の健康にだけ配慮した研修の問題点を指摘。

働き方改革では、女性への「配慮」から霞が関の「働き方改革」へ、残業前提型業務の見直しにより持続可能な霞が関へ向けて、若手女性有志の提言も報告された。

第1部の講演では、現状の労働環境の解説と、人事コンサルティング業務の取り組み事例をもとに、働く女性たちのの声をまじえて、今見えて

いる課題と有効な施策が紹介された。特に日本の企業が変わらない理由として、ビジネスモデルに人事評価が反映されていない(不合理な組織目標や売り上げ主義)、柔軟な働き方に応じたキャリア構築が困難(年功管理や転勤の壁)などがあげられた。また、家庭内役割分担・家庭責任に関して、企業にどの程度負わせるかが、社会課題としてまだ確立・共有できていないなど。

女性活躍推進のポイントとしては管理職の時短を含めた、ダイバーシティの視点から男性の働き方と組織文化を改革することが重要である。

ダイバーシティという概念を用いることの有用性としては「マイノリティへの支援」から「多様性を積極的に肯定する」という見方への移行が必要であり、個々のカテゴリーの問題に横串を刺すことで、取るべき施策内容や方向性が見えてくる。「受け入れる」「活躍を促す」ということの意味を探る上で複数のカテゴリーについて横断的に考えていくことが有用。

ただし、個別属性の課題に対する視点が不要となる訳ではなく、包括的なダイバーシティの概念とカテゴリー横断的な視点・施策を取りつつ、個別カテゴリーの問題に向き合っていくことが必要と結んだ。

第2部はまず、今年のEPDの計算式の改訂に関して、これまで男女の賃金格差の比率から計算していたものを、実際に女性が何日余分に働く必要があるか、女性の賃金の日割りで割り出す方法に変えたことについて、名取副理事長が説明した。続いて平松理事長のコーディネートにより男女格差、賃金格差などの実情、活動などについて参加者との意見交換をし、今後とも、格差の見える化、より多くの人へのアピール方法の工夫など、活動を継続・拡大していく必要性を確認した。

最後にアピール(次頁)を採択し、記念撮影。

認定NPO法人日本BPW連合会 2019年 EPD 全国会議アピール

2019年4月20日(土)

日本BPW連合会は、2019年EPD全国会議において、次のアピールを採択した。

1. 男女の賃金格差を知ろう！2019年のEPDは、5月13日※

※男性が1年間に得る賃金を、女性は1年では得ることができず、翌年の5月13日によりやく同額になるということに注目しよう。

※男女の賃金格差が、年齢を重ねると共に拡大することに注目しよう。

※企業ごとの管理職に占める女性比率に加えて、男女の賃金格差を公表しよう。

機関投資家はコーポレートガバナンスを注視している。

※2019年計算方法を改訂

2. 男女間の賃金格差の原因解消に向けて！

男女間の賃金格差の主な原因は、男女の継続勤務年数と職階の差である。

※格差解消のため、様々な両立支援策とワーク・ライフ・バランス、ポジティブ・アクションを通じた女性の登用が不可欠である。男性も育児・介護休暇を担おう。

3. 同一価値労働・同一賃金の実現を目指そう

4. みんなの協力で格差解消を！

※行政(中央・地方)に積極的な協力を求めよう！

※経済界・市民団体・マスコミ等に「理解と協力で行動を！」と呼びかけよう！

このEPDアピールは福岡大会後に福岡宣言と合わせて、6月20日、平松昌子理事長、名取副理事長が、内閣府池永肇恵男女共同参画局長に、6月28日上記2名及び安陪陽子東京クラブ名誉会長が、厚生労働省雇用環境・均等局本多則恵官房審議官及び堀井奈津子総務課長に手渡しました。どちらも関心が高く、実り多い情報交換を行うことができました。



各地での2019イコール・ペイ・デイ・キャンペーン

【連合会】2019年4月20日全国会議開催
EPD 全国大会のアピール文、要請文を手渡し

厚生労働省 大臣官房審議官
平松理事長、名取副理事長、
東京クラブ安陪陽子名誉会長
内閣府男女共同参画局長
平松理事長、名取副理事長
文部科学省
平松理事長、名取副理事長

全国での活動を報告し、アピール文、要請文を渡して今後の展開への協力を求めた。

【各クラブ報告】

【札幌クラブ】

5月24日に札幌市長を表敬訪問しEPDの説明とPRする他、道と市の関係部署にチラシを渡した。31日北海道新聞朝刊にその取材記事が掲載



【山形クラブ】

県知事、県の関係部署、労働局、経営者協会、商工会議所、連合山形の他、県・市の男女共同参画センター等への訪問によるEPDの説明と広報活動の協力を依頼。

【東京クラブ】

5月12日に例年通り東京駅丸の内側行幸通りで東京駅を背景に記念撮影。今年もSNSによりEPD活動



の拡散を図った。



【山梨クラブ】

5月13日県民生活・男女参画課、労働局雇用環境均等室、市人権男女参画課へ表敬訪問実施。



【名古屋クラブ】

5月13日知事および宮本悦子副知事他関係部署の



事業報告 イコール・ペイ・デイ

方々に説明。名古屋市副市長はじめ男女平等推進室の関係者が例年にならい全員赤色のものを着用して迎えていただいた。その他、労働局長訪問。朝日新聞に記事が掲載された。



【大阪クラブ】

大阪市関係部署(市民局、男女共同参画センター、男女共同参画のまちづくり共生協会)へ訪問と協力依頼



【和歌山クラブ】

5月16日県・市の関係部署、労働局雇用環境均等室、連合和歌山の他、商工会議所、商工会など経済



界へのアピール訪問、また、メディア各社に取材依頼実施。。この他銀行や企業にもアピール。

【香川クラブ】

4月23日県知事、26日高松市長、労働局雇用環境均等室長、商工会議所、経済同友会、連合香川などへの表敬訪問とPR。24日連合香川の執行役員会で説明とチラシ配布。5月13日香川労働局長、中心商店街でチラシ配布。四国新聞でEPD活動が掲載。さらに香川大学の会報にBPWのEPD活動の記事が掲載された。



【福岡クラブ】

昨年に引き続き、女性と労働に関する勉強会「レインボーカフェ・女性と労働2019」開催予定

【北九州クラブ】

5月13日北九州市の関連部署、市議会副議長への面談とチラシ配布の依頼。その他公財アジア、交流・



研究フォーラム、男女共同参画センターへの趣旨説明。夕方小倉駅前にてチラシ配布・説明。そのほか病院・薬剤師関連など、企業、学生、各団体への啓発活動を通年で積極的に実施。



自赤いものをつけて写真を撮り SNS 等で拡散し周知の活動をした。

【その他】

- ・各クラブ・アソシエーツにおいてチラシ拡散等の活動実施。
- ・女性センターのフェスティバル等におけるの展示・学習会など通年で実施

【長崎クラブ】

5 月例会で EPD の新しい計算式の理解、13 日に各

